

# Publicity Report

新聞・インターネット・情報誌などで  
紹介されたミックの記事のご紹介



[ミック]グループ 株式会社三春情報センター

〔住宅新報 web〕 2017年2月7日(火)掲載 (発信:住宅新報社)

## 住宅新報 web

不動産・住宅関連のニュース・  
書籍・セミナー総合サイト

2月7日 火曜日

### 商店街で活性化イベント 三春情報センター(神奈川県) ホ コテン、に2万5000人来場

[住み手暮らし情報](#) [住宅新報 2017年2月7日号]

[ツイート](#) [シェア](#) [G+](#) [in](#) [B!](#) [☆スクラップ](#) [メール](#) [印刷](#)

この記事を読むのに必要な時間：約3分

横浜・横須賀・湘南地域に37店舗を出店し、総合不動産業を展開する三春情報センターは、様々な地域貢献活動を積極的に行っている。全支店周辺での清掃活動だけでなく、地元商店街を活性化させるためのイベントもプロデュースしている。更に、昨年夏には横浜市営地下鉄上永谷駅近くに、地元「丸山台いちちょう坂商店街」の事務局や広報活動を担うコミュニティカフェをオープンさせた。

同社が設置した「いちちょう坂カフェ」では、商店街の情報発信だけでなく、様々なイベントも開催している。昨年商店街が実施した、ハロウィンイベントでは、スタンプラリーのゴールとして700人が利用。今年の正月には、餅つき大会も開催。ヨガなど様々なサークル活動にも利用されている。

「いちちょう坂カフェ」設置のきっかけは、11年に丸山台商店街からのパンフレット作成に関する相談だった。半年近いやり取りの後、デザイン的な工夫だけでなく、街のガイドマップの作成、インタビュー等コンテンツの充実、商店街のキャッチフレーズを夏祭りで公募する企画など、様々なアイデアを盛り込み刷新した。新しいパンフレットは評判を呼び、商店街関係者の中でも30代など若手からの協力が得られるようになっていったという。

若手担当者と商店街の活性化について協議を重ね、補助金を活用し、商店街を歩行者天国にするイベントを企画。15年3月に開催し、1万5000人が来場。翌年は2万5000人が来場するという成功を収めた。

三春情報センターの担当で、丸山台いちちょう坂商店街事務局担当、いちちょう坂カフェ店長の葵俊介氏は、歩行者天国のイベントについて、「最初、警察に相談したときは、『道路を封鎖するなど、あり得ない』と言われた」と振り返る。



マーチングバンドの様子



地元学生による吹奏楽の演奏



注目を集めるフアフア遊具



イベントには多くの人が参加

地元選出の議員を紹介してもらい、様々な機関との橋渡しを頼むなど、実現するために、あらゆる手段を使ったという。

商店街が歩行者天国にした道路は、路線バスも走っていた。イベント当日はバスに迂回してもらう必要があり、バス会社の了解を得るため、「イベント賛同の署名」を自治会経由で集め、ようやく実現している。



歩行者天国だけでなく、ハロウィンイベントなど様々なイベントを実施し、多くの参加者を獲得している。葵氏にその秘訣を聞くと、「主催者目線ではなく、地元の人を楽しめることに着眼するという地元目線が重要」と話す。

歩行者天国イベントでは、商店街にあるスポーツクラブのキッズダンス教室に通う子供のダンス発表会、地元小学生が運動会などで実施しているソーラン節の発表会、地元中学校によるマーチングバンドの発表会などを実施している。

「子供が出演している発表会は、親だけでなく祖父や祖母も見に来ることが多く、来場者は増加する。子供たちの満足度も高く、喜びの記憶が連鎖していくことで参加者が増加する」と話す。

更に、分かりやすく目立つものも重要と指摘。

「子供向け大型ふわふわ遊具もにぎわい創出に有効だ」(葵氏)と話す。

葵氏は、イベント開催により、一時的なにぎわいは演出できたが、継続することの難しさに直面したという。

「丸山台いちょう坂商店街は、シャッター通りではなく、まだまだ元気な商店街だ。しかし、商店街の店舗は、少ない人数で運営しているところが多く、商店街の会合などに、集まりたくてもなかなか集まることができないのが現状だ。それなら、自分が拠点となることで、継続して商店街を活性化できるのではないかと考え、会社と商店街にカフェの設置を提案した」と話す。

今後、カフェで飲食できるメニューの増加や、今よりも多くのイベントを開催し、カフェの利用を増加させ、商店街の活性化を促進していく。

ミックでは、地域貢献活動として、地域の清掃活動のほか、商店街活性化のためのイベントプロデュースなども行っています。

市営地下鉄線上永谷駅にある「いちょう坂カフェ」では、「丸山台いちょう坂商店街」の運営事務局として、商店街の情報発信やイベントプロデュース他、地域のサークル活動などを行っています。

本件が、住宅新報社 web に掲載されました。

